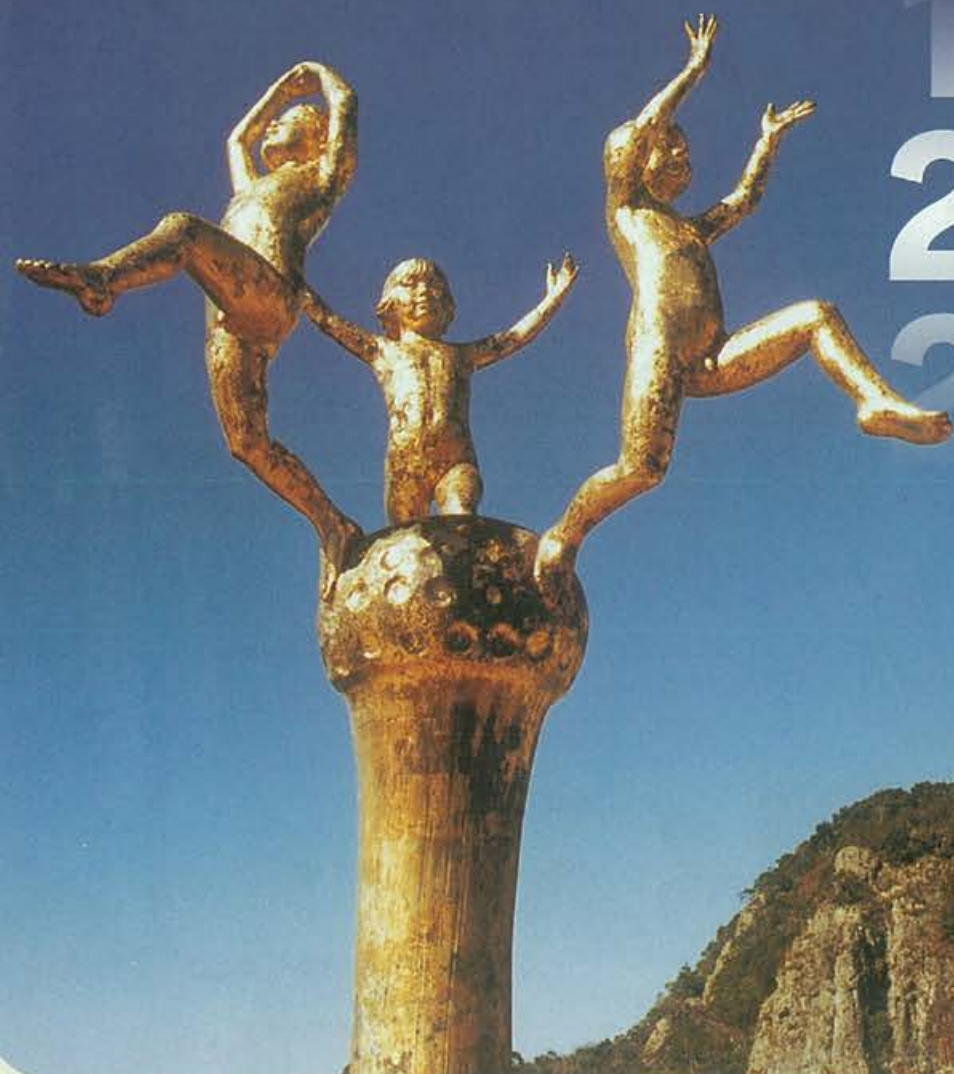




緑と彫刻のある町

1999
2000
2001



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1月の行事

- 1日 元旦
- 3日 成人式
- 9日 三太郎駅伝大会
- 10日 成人の日
- 11日 三種及び二種混合予防接種（改善センター）
- 16日 新春親子あけ大会（総合グラウンド）

2000
Vol.408

1

PublicRelation 2000 1

発行 熊本県津奈木町役場 編集 企画課

〒869-5692 熊本県津奈木町大字小津奈木2123
TEL 096-6678-3111 印刷 旭印刷株式会社

Boys & Girls Interview Please!!

少年少女諸君！
ちょこっと
話しば
聞かせて!!

みやがわ まきみ
宮川 真喜美さん
（水俣市神内）
S51.5.13生 A型
水光社津奈木店



● それでは仕事の話から聞かせて下さい。
真-水光社津奈木店でレジをしています。
● 趣味はなんですか？
真-最近スノーボードを始めたので、スノーボードかな？
● 休日は何してですか？
真-友達と買い物に行ったりしています。
● 理想の男性はどんなタイプ？
真-大きくておもしろい人。舞ノ海関みたいな人がタイプです。

● あなたのストレス解消法は？
真-友達と遊ぶこと。
● 津奈木町で一番好きな場所は？
真-つなぎ温泉四季彩。
● 町へのご意見をどうぞ！
真-四季彩のサウナをもう少し広くしてほしいです。私事です水光社津奈木店をご利用下さい。
● どうもありがとうございました。

ご寄附・ご芳志お礼 （敬称略）

◎社会福祉協議会へ

【香典返し】

地区名	世帯主	故人
小津奈木	岡本 顯	秋徳
平国下	村上 晴美	守
古川	古田登紀男	呉黄玉星
内野	藤井 義治	豊松
町中	財部 孝昭	明行
浜崎	森山 増	サカエ

以上の方々から香典返しとして金一封をご寄附いただきました。ご意志に添い有効に活用させていただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

【一般寄附】

生活協同組合水光社 家庭会
舞鶴太鼓 代表 倉本 健一
浜崎地区 永柄 盛光

以上の方々からご寄附いただきました。誠にありがとうございます。

町の人口と世帯数 （平成11年12月1日現在）

人口総数	5,975	(+16)
(男)	2,877	(+5)
(女)	3,098	(+11)
世帯数	1,942	(+1)

●今月の表紙

「西暦2000年つなぎ町民カレンダー」に使用した彫刻「風ん子」の写真を使用して新年号の表紙を飾ってみました。



ひとりごつ

みなさん、あけましておめでとうございます。日頃から「広報つなぎ」ご愛読、誠にありがとうございます。今年は辰年にあやかって、飛躍の年にしたいものです。たまには仕事を忘れて、飲めや歌えのドンチャ騒ぎ、鯛やヒラメの舞い踊り。竜宮城みたいなところいいですね。帰りの玉手箱と奥さんの顔が怖いけど…。(^-^)/~~~ (Arakawa)

みかんカゴのクリスマスツリー

12月5日、グリーンゲイトに高さ5mのジャンボクリスマスツリーが出現、夜には美しいイルミネーションがクリスマス気分を演出していましたが、皆さんご覧いただけましたでしょうか？

これは、グリーンゲイトファミリー（篠原重富会長・20人）が毎年行っているクリスマス企画で、今年はみかんカゴ約140個を組み合わせたツリーが制作されました。表面には緑色にスプレーされた透明ビニールがかけられ、ツリーの上には、星をイメージした飾りが付き、日中も楽しめるよう工夫されていました。

つなぎ温泉四季彩にも ジャンボ門松お目見え

また、同日つなぎ温泉「四季彩」の駐車場入口には、高さ5mのジャンボ門松が2本飾り付けられました。



↑駐車場入口に飾り付けられた5mのジャンボ門松。

こちらは、お正月の期間中楽しむことができます。ぜひ皆さんお揃いでお出かけください。

第50回熊日三太郎駅伝大会記念イベント 三太郎懐かしのパネル展

平成12年1月9日は、お正月恒例の熊日三太郎駅伝大会が開かれます。今年は記念すべき50回大会。12月13～19日には、これを記念してつなぎ温泉四季彩で、これまでの大会を振り返る懐かしの写真パネル展が開かれました。展示パネルは30枚。半世紀にわたる歴代選手の力走ぶりを見ることができました。これからも21世紀にたすきをつなぎ、大会の発展と津奈木チームの健闘を祈りたいと思います。



↑三太郎駅伝大会は今年で50回を迎えます。

21世紀は町長に聞け!!

まず、今現在を語る前に、過去に注目してみたいと思います。過去は、将来に向かうためのひとつの具体的な事例です。物事が将来どうなるのか、また、将来どうしたらいいのかと考えるときに、過去の歴史というものがたいへん参考になります。

全てにおいて明と暗があった

産業革命以降、1900年代、特に日本は、昭和30年代から昭和50年代にかけて高度成長期に入りました。昭和39年には東京オリンピックもあり、集中的に投資がなされ、それに伴い交通アクセスも整備されました。その一番大きな革命は新幹線でした。それまでは日本も北海道や九州、四国など、それぞれの場所の特徴を活かしながら産業が起っていましたが、高速交通体系が進むと、時間的な日本地図がぐっと狭く、小さくなり、東京への一極集中が起りました。経済効率から言えば、日本全国良くするよりも、一カ所に投資効果を求めて、そこを良くすることが、経済発展の一番の近道でもありました。それは、太平洋

沿岸ベルト地帯（南関東・東海・近畿中央部さらに瀬戸内を経て北九州に至る地帯）に波及し、田舎からは、どんどん若い人が就職を求めて出て行きました。東京もそんなに多くなかった人口が一挙に膨らみ、太平洋ベルト地帯にも人口が集中しました。その反面、そこにはずれた市町村には、若者がいなくなり中高年層が多くなるという現象が起りました。津奈木町も9303人いた人口が、現在では6000人を割り込んだ状況にあります。そうしますと、人口密度の高い過密な地域と人口密度の低い過疎地域が生まれ、過密と過疎の問題が生じてきました。その問題が日本全体の行政の歪みを生じましたし、産業の均衡ある発展も阻害してしまいました。

その間、生活レベルは向上をみせ、三種の神器といわれた冷蔵庫、テレビ、自動車なども購入できるよう所得水準まで上がってきました。家庭内には、利便性のある家電製品があふれ、生活様式もがらりと変化しました。また、教育も高学歴社会となり、本当に勉強したいから進学するというものから、就職のための手段として大学や良い高校へ入学するといった受験戦争が起り、その風潮を改めようと教育改革が2000年に近づくにつれ、叫ばれるようになり、全体的に明と暗があったと言えます。

また、1900年代は、産業変化が著しく、第1次産業から商業や工業が起り、オリンピックの年には、急激に産業が発達する、いわゆるテクニクオフが起きました。現在は、高度消費社会になり、低成長時代へと移り変わっています。

夢がなくなってきた社会が世紀末の時代



活性化委員会熱心に話を傾けていた。



具体例をあげながら講演を行う西川町長

活性化推進委員会は今年、新たなメンバー18人でスタート。3年間の活動を通して、住民主体で、町の活性化策を検討しようというものの。今年は初年度で、町長講演の他、町内ウォッチングや桜祭りも計画されている。



12月14日、つなぎ温泉四季彩で、活性化推進委員会（宮嶋弘行会長：18人）の定例会が開かれた。

今回は講師に西川町長を招き「21世紀に向けたまちづくり」がテーマ。

住民参加のまちづくりを行っていくうえで、町長の考えは、方向性を模索している委員にとって、十分理解しておきたいところ。参加した委員たちは熱心に耳を傾けていた。

21世紀に向けた思いや、考えを皆さんにも聞いてもらいたい。



21世紀の津奈木町を考える仲間、四季彩に集まった1900年代最後の講演

何を望もうか、何に希望を求めようかとしたときに、夢がなくなってきた社会が世紀末の時代だろうと思います。生活レベルは一定の所まで向上しましたが、人間社会の生活をよくするために、さまざまな科学・産業技術を駆使して行ってきたことが、自然環境を破壊する形となり、結果、水保病という大きな公害問題も生み出しました。そのために、精神的に差別、差別あるいは蔑視、誤解などを生み、我々は40年間にわたって苦しんできたわけです。これについては、一応の患者救済の決着がつけられましたが、ここにも明と暗があったわけです。

世界の潮流もそうです。イデオロギー的にも共産主義と自由主義があり、軍事的にも対立が起きました。結果として70年間続いた共産主義は経済的にも破たんし、ベルリンの壁の崩壊につながり、全世界が同じ土俵になってしまいました。こうした世界の変革が世紀末に起こったということも大きい問題だろうと思います。

21世紀、町の産業の行方は…

21世紀、日本はどうなっていくのか、津奈木町はどうなっていくのかということですが、すけれども、具体的に農業からいいますと、今の狭い農地では、はつきり言っています、相模類しかないと思っています。すべての農業生産物は対価に対して所得が非常に低く、また、工業製品のように保存がきかないため、常に市場価格に左右されます。また外国からも入ってくるので市場原理の法則でいうと、価格は下がる傾向にあります。それに、今、甘夏が忘れられていますが、人間は甘いものは好きで食べていると必ずすっぱいものが食べたくなるものです。全国民が甘いデコポンが欲しいわけではなく、すっぱい甘夏がほしい人もいますということを考えれば、甘夏も大事にし、デコポンと



2本立てでいった方がいいと思います。1本立てだと非常に危険で、もしもの時に、もう立ち上がれない可能性があります。第1次産業というのは新たな開発に4、5年を要します。苦労はあっても甘夏も作り、収益性のあるデコポンも作り、そのブランドを確立する。そんな2段階の農業が津奈木町には必要でしょう。また、工業製品に比べ、第1次産業、特に農業製品は40%は形が悪かったりして商品価値がありません。それをどうするかということであれ、悪い店を設置しては、人と人とが顔を合わせて売る、それがふれあいの店の役割です。その他、農産物の加工もこれからの農業の課題になりますし、私たちの知恵にかかっています。また、宅急便やインターネットの普及によって、価格形成の中で、市場原理に乗っ取って流通していたものが、今では人が作ったみかんだったら高くても買ってくれる人も出てきました（全体の40%近く）。こうした消費者はこれから増えるかもしれないし、流通も簡素化されてきたので、生産者の顔が見える農業を目指さなければならぬでしょう。

次に漁業についてですが、津奈木町は不知火海という狭い海が漁場です。底引きやトロールみたいなやつは、すぐに取れつくしてしまいます。規制を行ったり稚魚などが育つ（築機工事）や、漁礁の設置、自然をなるべく壊さない海岸保全工事など、人間が自然を壊さずに魚を増やすことが必要です。また放流事業（ひらめパイロット事業など）も効果的な方法です。その他、養殖のような作る漁業が主力になるでしょう。魚種をどうするか、今後どんな風にやっていくのかが課題といえます。

林業は台風の影響や不況の波で、材価がとて安い状況です。今後行政がすべきことは、木材の使い道、使える場所を考え、

21世紀への メッセージ

21世紀のまちづくりは、住民参加がキーワード。そこで、活性化推進委員会の3人の代表に、21世紀に向けた期待や思いなどメッセージをお願いした。



活性化推進委員会会長
宮嶋 弘行さん

21世紀の 「つなぎ人」として

新しいミレニアム（千年紀）を迎えるにあたり、20世紀から21世紀への大きな節目に、私たちが存在していることが、どんなに素晴らしい事かと感動しているところです。ただ、私たちの回りには、食糧・環境・エネルギー・少子・高齢化問題など直面した課題が掲げられています。

今ここで、もう一度20世紀で得た体験・反省のもとから、百年前（1900年代）の良い点、悪い点を引き出し、21世紀への資料として考えてみるのも良いと思っています。また、21世紀に向けては、情報化対応により、津奈木町の発信を行い、より多くの人々にアピールをしていきたいと思っています。もっとも大切なことは、今後一人一人が「つなぎ人」として何かを語り、何に努力し、何を築こうとしていくかに力を注ぎ、このミレニアムに向けた輝かしい希望と夢に託していきたいと思っています。

1人1人の元気に お手伝いして

我町が文化を地域おこしの核に据えて十数年。町民参加の活性化委員も自分たちでできる町づくりを目指して活動を進めてきました。定例会を始め、各種団体との交流会、ワークショップ等、思索を巡らせてきましたが、文化が主体の地域づくり



活性化推進委員会副会長
川上 美代子さん

一人一人の元気にお手伝いをする。このように行政の取り組みを踏まえながら、住民生活に馴染んだ活動を進めていく必要があると思います。パイプ役としての更なる調査、学習は勿論のこと、それぞれの意見や協力を得ながら、行ってみて、住んでみたい町づくりを目指したいと思っています。

は、なかなか難しく、意見も少ないのが現状で、これから課題の一つです。そこで私たちのなすべき役割は、すでに着工している美術館や附属する建物、彫刻が一人歩きしないように、或いは、地域おこしグループとの連携や地区活動、イベントの開催で世代間の交流を深め、

地域活性化の言葉は 難しいけれど…



活性化推進委員会副会長
福田 征起さん

この原稿を書くにあたり、今まで私たちが町づくりとして、何を考え、何を行ってきたか改めて考えさせられた。きっかけは、グリーンゲイトラフアミリーに入ったことだろうか。グリーンゲイトラフアミリーで行ってきた、さまざまなイベントやコンサートなどは、町内外の人々と広く交流を持つことができた。このことは、私の中で大きな財産となっている。

さて、21世紀に向けて、まちづくりは何をすれば良いのか。これはなかなか難しいことで、これを行えば地域が必ず活性化するということはない。まずは自分が楽しむこと、自分が興味を持つことを見つければいいと思う。それを続けることが最終的には、地域活性化につながるのかもしれない。

まちづくり、地域活性化と言葉は難しいけれど、気楽に考え活動していきたいと思っています。

21世紀は町長に聞け!!

需要拡大を図っていくことでしょう。案として、学校周辺の木材使用を考えています。昔の学校は、木の廊下や木製の机でしたが、今では木をあまり使わない建物が多く、刑務所や病院のように冷たい感じを受けます。それぞれの感じ方でしょうが、内装などに木が使っていると、もっとあたたかい授乳ができるのではないかと考えています。林業が業として成り立たなくなれば、当然農業や漁業にも影響してきます。山が健全な山であれば、降った雨が地下へも浸透しますし、落ち葉もたまり、プランクトンも流れ、魚のえさにもなります。また水保全の面を考えると、水をいかに貯めておくかも重要だと思っています。水が田んぼを潤し、みかんの散水に使われるなど、とにかく水が基本になります。しかし日本の山は傾斜が急で、水がすぐに流れ出てしまします。そのために、津奈木町にも深溝ダムをつくりました。防災のためにも重要ですが、実際はなるべく水を貯めて利用しようと考えています。

家族の絆や心のふれあい 心を満たす何かを求めて…



講演のあとは、なべ座談会で話が盛り上がった。



西川町長のいう「21世紀（心の時代）」は、もう目前です。

「心の時代」の訪れ

21世紀は「心の時代」だと思っています。ある程度生活が満たされ、お金で買えるものも手に入れました。しかし、毎日忙しく働いて、どこにも出かける暇がない。なんとなく心には何か穴が空いたように生活を送る。そういう時代が21世紀の初頭だと思っています。そこから、さまざまな心のより所や家族の絆、心のふれあいなど、自分の心を満たすための何かを見つける時代というの21世紀にはやってくると思います。お金も、肉体的や精神的なものをいやすための「手段」として、使われる時代になるだろうと思います。

まず、美術館は心をいやすより所となり、美術品などをみて人間というものは育っていくと思っています。また、遊び心も取り入れ、モノレール設置も計画しています。重宝という貴重な財産がすでに町にはありますので、それを生かし、自然がつくりあげた花や緑を見てホッとする、人間が作った美術品を見てホッとする。自然の美しさと人工の美しさ、2つを融合させるためにモノレール設置を考えています。そこから四季彩やグリーンゲイトにも経済効果が波及するように仕向けたいと思っています。また、福浜地区の眺めの良い場所を利用して、契約栽培を行うなど、観光農業も将来は必要だと思っています。漁業も都会の人たちとふれあい、子供たちも楽しめるような、やり方も可能だと思っています。一次産業はこれから付加価値をつけることが重要になってきます。

商店や営業所はこれから増えてくると思っています。それは水俣市の初野辺りに新水俣駅ができ、インターチェンジもできまうので、交通拠点が津奈木町に集中し、必ず津奈木町を通過するようになります。そうなる津奈木町に店舗をかまえたほうが繁盛しますし、大きな会社の支店、営業所なども小津奈木地区周辺には増えてくるでしょう。今後、将来に向けた交通アクセスや環境整備も行う必要があると考えています。桜戸商店街などは、国道3号線沿いではありますが、駐車場のスペースがないので、店を移動してでもスペースを作り、すぐ立ち寄って、すぐ買い物ができる、そういう店づくりが必要だと思っています。行政の仕事としては、商店街や町が明るくなるように街灯の設置等を行っていくます。

21世紀に向けてどうしていくか、究極としてはヨーロッパのような、きれいな町を残したい。環境がよく、歴史や文化を大切にしたい。津奈木町に遊びにおいでと言えて、大人はホッとできる町。そんな町を後世に残していきたいと思っています。理想を現実のものにしていくためには、私たちはもちろん、皆さんの力にかかっています。全部をいっぺんに変えることは難しいので、できることを一つ一つ変えていく。そして最後には、こういう町にしたいという考えを持っておくことが大切だと思います。目に見えないものでは、お互いに互助精神を持って、思いやりのある、あたたかい町をつくる。それは教育環境や社会教育にかかってくる問題ですが、特に子供たちには親の人間性が大きく影響すると思います。地区活動にも進んで参加し、一人一人が町をきれいにしようとする気持ちが大切です。ハード面は、お金をかければただで済みますが、目に見えない品格というものは、住民一人一人が、がんばっていかねばなりません。そのために、お互いが認めあう「普くめる精神」を大切に、家庭でも勉強、勉強とは言いわずに子供の良いところを誉めてやる。そうしたいのもやさしい声がかける、あたたかい町にしたいと考えています。



介護保険認定申請スタート 新たに、ほけん課を設置

7月1日、役場では組織改編が図られ、介護保険等の業務にあわせて「ほけん課」が新たに設置。

10月1日から要介護認定申請の受け付けを行っています。本町では、地区毎に受付を行い、現在約201人の方が申請に来られています。また、調査員が申請者の自宅を訪問し、心身の状態を調査する訪問調査も同時に開始されました。

介護サービスの提供は、平成12年4月スタートです。



九州新幹線鹿児島ルート 岩城トンネル貫通!

6月9日、本町の町中地区で工事が進められている、九州新幹線鹿児島ルート「岩城トンネル」の貫通式が現地で行われました。

本工事は、日本鉄道建設公団・九州新幹線建設局が平成10年2月から行ってきたもので、延長410m、総工費は約8億8千万円。

本町では岩城トンネルのほかに、新津奈木トンネルと染竹トンネルの工事も進められています。

文化の香るまちづくり 「宮崎静夫絵画展」開催

11月13日から21日までの9日間ふれあい祭りに合わせて「宮崎静夫展」が改善センターで開かれました。

会場には、宮崎画伯の絵画48点(油彩42点、デッサン3点、水彩3点)を展示。来場者は写実的な作品に目を凝らしながら、時間をかけ、ゆっくりと鑑賞していました。期間中には町内の小中学生を対象に鑑賞会も開かれました。



津奈木海龍、2度目の龍舟 選手権世界大会出場!

8月26~29日、イギリスのノッティンガムで、第3回世界龍舟選手権が開かれ、日本代表として本町から津奈木海龍が出場しました。海龍は、平成9年に開催された香港大会に続き2回目の出場。本大会には、世界14カ国から強豪が集い熱戦が繰り広げられました。海龍はプレミアムオープンに参加。予想以上に世界の壁は厚く、惜しくも総合12位でした。津奈木海龍の名を世界に轟かせるべく、今後も挑戦は続きます。これからも皆様のご声援をよろしくお願いします。



町に元気と潤いを! 地域振興券交付

3月29日から地域振興券の交付が本町でも始まりまし。交付者数は2,063人で交付額は4,126万円。本町登録の特定業者数は87業者でした。換金額は4,105.7万円、換金率は99.5%となっています。(H11.12.20現在)

利用業種別に見ると食料雑貨店での利用が8割を越えトップ。2位はサービス業の1.5割、3位が飲食店等となっています。

'99ニュースのなかの News9!!

1999年も本町では多くのニュースがありました。その中から、厳選してニュース性の高かったものを特集してみました。皆さんと一緒に1999年を振り返って見てください。



今世紀最大の天災! 台風18号 町を直撃、大きな被害を与える

大型で非常に強い勢力を持った台風18号は、9月24日、午前4時ごろ牛深市付近に上陸。県内各地に大きな被害をもたらしました。

本町でも、暴風雨の影響で、停電や断水、倒木等による交通機関の乱れ、電話回線の不通など大パニックに陥りました。家屋被害は約7百棟にもものぼり、農林水産業へも大きな被害をもたらしました。

災害はいつどこで発生するか予測ができません。台風18号の教訓を生かして、私たちにできる防災行動について考えてみましょう。



「くまもと未来国体」 ゲートボール競技開催

9月11日、第54回国民体育大会「くまもと未来国体」夏季大会が開幕しました。熊本での国体開催は、39年ぶり。「人、光る。」をスローガンに、9月14日までの4日間、県内で熱戦が展開され、本町でも9月12日、デモンストレーションとしてのスポーツ行事として、ゲートボール競技が総合グラウンドで開かれました。10月18日には炬火リレー、10月23日からは秋季大会も開催されました。



津奈木町美術館(仮称) 着工 21世紀の津奈木町にむけて!

11月1日、津奈木美術館(仮称)の起工式がグリーンゲート横の現地で行われました。同美術館は、「利用者に開かれた美術館」、「周辺施設と連携し、自然環境と調和した美術館」、「地域全体を結ぶ拠点となる美術館」を目指して、21世紀に向け建設が進められています。オープンは平成13年春の予定です。皆さんどうぞご期待ください。



21年ぶりの 農業委員会選挙!

7月11日、昭和53年以来、21年ぶりとなる農業委員会委員一般選挙が行われ、立候補者11人の内、10人が農業委員に当選されました。

当日の有権者は1434人で、投票者数は1278人、投票率は89.1%でした。当選された委員(10人)、議会推薦の委員(3人)、農協推薦の委員(1人)を合わせて、14人が新たに農業委員となりました。





↑ぼたもち会のメインディッシュは、子どもたちの手で。

赤崎小学校でもちつき会 赤崎太鼓お披露目

12月5日、赤崎漁村センターで地域の人々と赤崎小学校の全児童27人が参加して、餅つき会が開かれました。これは子供たちとのふれあいをとおして、地域の交流を図ろうと赤崎小学校が毎年行っているものです。

子供たちは、保護者らが太鼓旗で作った法被姿に身を包み、杵と臼を使って、昔ながらの餅つきを体験しました。その後、児童たちは集まった人たちの前で、練習してきた赤崎太鼓を披露。この太鼓は、水俣湾の仕切り網に利用されていた浮きを再利用したもので、軽快な音色と子供たちのかけ声が会場を盛り上げていました。また、会場ではバザーやリサイクルのフリーマーケットなども行われ、賑わいをみせていました。



保護者たちの作った法被に身を包み、浮きを再利用して作られた太鼓をたたき、赤崎小学校の児童たち。

お年寄りを招待して平国小学校ぼたもち会
ぼたもちで世代間交流!
11月28日、平国小学校で平国校区のお年寄りを招待して恒例の敬老ぼたもち会が開かれました。参加者300人全員で「秋の子」を合唱し、ぼたもち会がスタート。児童たちは、学年毎に歌や劇、六方踊りなど、日頃の学習の成果をステージで発表し、訪れた人々を楽しませました。お昼の交流会では、児童たちの作ったぼたもちをお年寄りと一緒に食べながら、竹馬やあやとりなど、昔ながらの遊びを行い交流が図られました。また、お年寄りからも



↑お年寄りの前で、練習の成果を披露する児童たち

おれを込めて餅投げが行われ、会場を盛り上げていました。ぼたもち会終了後は、大縄跳び大会も行われ、楽しい一日になっていました。

津奈木保育園12月恒例、もちつき会 1人暮らしのお年寄りと一緒に

12月10日、津奈木保育園で1人暮らしのお年寄りを招待してもちつきが行われました。これは保育園が行っている12月の恒例行事で、園児たちは、参加した42人のお年寄りと一緒に、もちつきに挑戦しました。つくたてのモチは参加した約30人の保護者たちによってめめられ、園児たちはそのできたてのモチをおいしそうにほおばっていました。おなかいっぱいになった園児たちは、お年寄りと一緒に昔ながらの遊びをしたり、太鼓を披露して交流を楽し

んでいました。当日は全部で1俵のモチがつきあげられ、つなぎ温泉四季彩へも正月用の鏡モチが2組届けられました。



↑お年寄りと一緒に楽しいもちつきとなりました。

男女共同参画セミナー開催 自分らしさを 発揮できる社会に

11月26日、文化センターで男女共同参画セミナーが行われ、「行動する女達」と題して星子邦子さんの講演がありました。参加者は約140人。

男女共同参画社会とは、男女がお互いを尊重し、支え合い、責任も利益も分かち合い、家庭でも職場でも生き生きと活躍できる社会のことです。その実現に向けて、男女共同参画社会基本法が平成11年6月に施行されました。皆さんも男女が自分らしさを発揮できる社会に向け協力ください。



「行動する女達」と題して、星子邦子さんの講演がありました。

西暦2000年つなぎ町民カレンダー作製、全世帯に配布

カレンダーをめくって 町の20世紀を感じてください!!



町では、行事やイベントなどの予定を掲載した「西暦2000年つなぎ町民カレンダー」を作製し、町内の全世帯に配布しました。これは、西暦2000年を記念して作製されたもので、大きさはB3サイズ。県の地域振興総合補助金を

受け、「文化の香り高いまちづくり事業」のひとつとして行われたものです。日付の部分には、町の行事予定などが詳細に記入されています。表紙には20世紀の町の年表があり、掲載された写真も歴史を感じられるよう配慮されています。また、12体ある彫刻も毎月1体ずつ写真で紹介されています。21世紀のスタートに向けて、カウントダウンカレンダーとしても利用できるよう2001年1月までの1年プラス1カ月分(13カ月分)のカレンダーになっています。カレンダーをめくりながら皆さんも20世紀の歴史を振り返ってみてください。

↑表紙には1900年代の町の年表もついています。日付の部分には、町の行事や健康診断の日程、ゴミの収集日なども掲載されています。毎月1体ずつ彫刻も写真で紹介され、「緑と彫刻のある町」がPRされています。2000年限定プレミアムカレンダーは、全世帯に配布されました。



↑4人の受章者を代表して長瀬 真男さん挨拶。

12月8日、つなぎ温泉四季彩で、勲六等瑞宝章を受章された長瀬真男さん(平

みなさんのおかげです!! 勲六等瑞宝章、厚生大臣表彰受章記念祝賀会

当日は、記念品や花束贈呈の後、受章者4人を代表して長瀬さんが一身上る感謝です。これもみなさんのおかげ。今後とも、なお一層精進していきます。と挨拶。4人の受章をたたえ、会場からも大きな拍手が贈られていました。

台風18号に負けるな ボランティアで復旧作業

11月6日、町の建設業組合が台風18号で被害のあった舞鶴公園や総合グラウンド周辺の復旧作業を行いました。これはボランティアで行われたもので、当日は組合員約20人が参加。風倒木の撤去や遊歩道の整備などに汗を流しました。おかげでクロスカントリー大会のコースもきれいになり、今年も大会は大盛況でした。作業を行われた皆さん、どうもありがとうございました。



交通事故防止運動期間中 交通事故には 注意、注意!

平成11年12月24日から平成12年1月3日まで、「飲酒運転の根絶」や「シートベルト着用の徹底とチャイルドシート着用の推進」「早めの点検と反射材の活用」を重点目標に、交通事故防止運動が行われています。事故発生状況を見ると、全て増加傾向にあります。年末年始は交通量の増加に伴う道路の混雑に加え、飲酒等の機会が多くなり、交通事故の多発も予想されます。

皆さんも交通事故の防止に十分心がけてください。

●水俣警察管内事故発生状況 ()は対前年数

月別	平成11年12月15日現在			平成10年12月15日		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
県	(+517) 11,479	(+8) 156	(+795) 14,761	10,962	150	13,966
管内	(+21) 162	(+1) 2	(+35) 215	141	1	180
本町	(+2) 29	(+0) 1	(+8) 50	27	1	42

三種及び二種混合予防接種を行います



三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）
予防接種を実施します。

日時

平成12年1月11日（火）
午後1時～2時受付

場所

津奈木町改善センター

対象児

平成8年1月1日から平成10年12月31日までの出生児（満6歳までは接種できます）

※第1期合計4回接種していない方は、あと1回接種下さい。

※受診時は、母子健康手帳及び印鑑を必ずご持参下さい。

問い合わせ先

ほけん課保健係
78-3111（114）

介護保険の認定申請はお済みですか？



いよいよ介護保険が2000年4月1日からスタートします。介護保険のサービスを利用するため

に必要な介護保険認定申請を役場ほけん課で受け付けています。

認定申請を行わないと、これまで利用していたデイサービスやホームヘルプサービスなどが原則として利用できなくなります。必ず忘れずに申請しましょう。

問い合わせ先

ほけん課介護保険係
78-3111（127）

平成12年度、幼稚園入園児募集！



平成12年度津奈木幼稚園の園児を募集します。

募集人員

3歳児 40人

4歳児 40人

5歳児 40人

平成6年4月2日から平成7年4月1日までの出生児

平成7年4月2日から平成8年4月1日までの出生児

平成8年4月2日から平成9年4月1日までの出生児

平成9年4月2日から平成10年4月1日までの出生児

平成10年4月2日から平成11年4月1日までの出生児

平成11年4月2日から平成12年4月1日までの出生児

平成12年4月2日から平成13年4月1日までの出生児

平成13年4月2日から平成14年4月1日までの出生児

平成14年4月2日から平成15年4月1日までの出生児

平成15年4月2日から平成16年4月1日までの出生児

平成16年4月2日から平成17年4月1日までの出生児

平成17年4月2日から平成18年4月1日までの出生児

平成18年4月2日から平成19年4月1日までの出生児

平成19年4月2日から平成20年4月1日までの出生児

平成20年4月2日から平成21年4月1日までの出生児

平成21年4月2日から平成22年4月1日までの出生児

平成22年4月2日から平成23年4月1日までの出生児

平成23年4月2日から平成24年4月1日までの出生児

平成24年4月2日から平成25年4月1日までの出生児

平成25年4月2日から平成26年4月1日までの出生児

平成26年4月2日から平成27年4月1日までの出生児

平成27年4月2日から平成28年4月1日までの出生児

平成28年4月2日から平成29年4月1日までの出生児

平成29年4月2日から平成30年4月1日までの出生児

平成30年4月2日から平成31年4月1日までの出生児

平成31年4月2日から平成32年4月1日までの出生児

平成32年4月2日から平成33年4月1日までの出生児

平成33年4月2日から平成34年4月1日までの出生児

平成34年4月2日から平成35年4月1日までの出生児

平成35年4月2日から平成36年4月1日までの出生児

平成36年4月2日から平成37年4月1日までの出生児

平成37年4月2日から平成38年4月1日までの出生児

平成38年4月2日から平成39年4月1日までの出生児

平成39年4月2日から平成40年4月1日までの出生児

平成40年4月2日から平成41年4月1日までの出生児

平成41年4月2日から平成42年4月1日までの出生児

平成42年4月2日から平成43年4月1日までの出生児

平成43年4月2日から平成44年4月1日までの出生児

平成44年4月2日から平成45年4月1日までの出生児

平成45年4月2日から平成46年4月1日までの出生児

平成46年4月2日から平成47年4月1日までの出生児

平成47年4月2日から平成48年4月1日までの出生児

平成48年4月2日から平成49年4月1日までの出生児

平成49年4月2日から平成50年4月1日までの出生児

平成50年4月2日から平成51年4月1日までの出生児

平成51年4月2日から平成52年4月1日までの出生児

平成52年4月2日から平成53年4月1日までの出生児

2000年世界農林業センサスにご協力を！



平成12年2月1日現在で「2000年世界農林業センサス」が実施されます。

農林業センサスは、我が国の農林業の実態を明らかにする最も基本的な調査です。調査員がお持ちする調査票に農林業の経営状況などを記入していただきますので、農林業関係の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

◆問い合わせ先

役場企画課 ☎ 78-3111（223）
熊本県庁統計調査課労働農林班 ☎ 096-212-0880

母子家庭巡回相談を行います



日時
平成12年2月1日（火）
12時～14時

場所 役場1階相談室

対象者

○母子家庭の母及びその扶養する児童

対象者

○父母のない児童又は、その児童を養育している者

○現に児童を扶養していない、40歳以上の配偶者のいない女性

○その他、父子家庭等の者

◆相談内容

○生活一般（住宅、就職、結婚、その他）

○生活援助（資金、生活保護）

○児童（就職、教育、養育）

◆相談担当者

○県庁北事務所 母子相談員 母子福祉担当職員

○高齢者職業紹介所所属員

◆問い合わせ先

町民課福祉係

78-3111（113）

乳幼児医療事業が変わります！

●変更内容

	現在	平成12年1月1日～
対象者	入院：満3歳未満 通院：満3歳未満	入院：満4歳未満 ※多子世帯の幼児は、就学前まで 通院：満4歳未満

※多子世帯とは、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの年齢にある子どもが3人以上いる世帯

〈例1〉

第1子（20歳）
第2子（15歳）
第3子（10歳）
第4子（5歳）
規定内の子どもは3人。
第4子は就学前まで入院費のみ助成対象。

〈例2〉

第1子（6歳かつ就学前）
第2子（4歳）
第3子（2歳）
第1・2子は、入院のみ助成対象。
第3子は、4歳未満なので入院・通院とも対象。

- 現在「乳幼児医療費受給者証」をお持ちの方は、新しい受給者証とお取り替え下さい。
- 満3歳～満4歳未満の子供さん、及び多子世帯の方は、新たに申請手続きを行って下さい。
- 手続きは、平成12年1月5日から平成12年1月21日までです。
- 手続きには、現在お持ちの受給者証及び印鑑、健康保険証（対象乳幼児が記載のもの）を必ずご持参下さい。

◆問い合わせ先
ほけん課保健係 ☎ 78-3111（内114）

平成12年1月3日、成人式が行われます



本町では毎年、お正月の帰省に合わせて、ひとあし早い成人式を行っています。平成12年も次のとおり成人式を行います。新成人の皆さんはぜひご出席下さい。

日時
平成12年1月3日（日）
受付▼午前9時～
開式▼午前10時～

場所 つなぎ文化センター

対象者

昭和54年4月2日から昭和55年4月1日までに生まれた方

※当日は、簡単な自己紹介をお願いしますので考えてきてください。

問い合わせ先

教育委員会
78-3111（313）

胃がん、子宮がん、レントゲン検診結果



今年度、胃がん、子宮がん及びレントゲン検診を受診された方で、精密検査が必要な方には、通知を行っています。ご確認ください。

なお、今回の検査で異常が見られなかった方には通知を行っておりません。

問い合わせ先

ほけん課保健係
78-3111（114）

災害救助活動へご協力いただいた方へ
今年、津奈木婦人会（日赤熊本支部）で、災害救助活動の一環として、皆さんにタオルの抛出をお願いしましたところ、沢山の協力をお願いいただき誠に有り難うございました。



農業委員会選挙人名簿登録申請書の提出



農業委員会等に関する法律第10条の規定により、毎年1月1日現在で、選挙資格を調査し、選挙人名簿の調製を行っています。

本年も「登録申請書」を区長を通じて配布します。

対象者は、平成12年1月20日までに区長が農業委員会事務局へ提出をお願いします。

対象者

◆対象者
年齢が満20歳以上で次に該当する者

①10アール以上の農地の耕

作者務を行う者

②前号の同居親族又はその配偶者で、年間おおむね60日以上その耕作に従事する者

◆問い合わせ先

農業委員会事務局
78-3111（251）

知っている、つもりじゃだめです、最低賃金



熊本県の最低賃金が改定になりました。

熊本県の最低賃金表

単位：円

賃金項目	熊本県最低賃金	産業別最低賃金
日額（円）	4,759	5,135
時間額（円）	595	642
効力発生日	H.11.10.1	H.11.12.25

最低賃金は、常用、臨時、パート等県内すべての労働者に適用されます。

②産業別最低賃金について

最低賃金は、常用、臨時、パート等県内すべての労働者に適用されます。

②産業別最低賃金について

最低賃金は、常用、臨時、パート等県内すべての労働者に適用されます。

②産業別最低賃金について

最低賃金は、常用、臨時、パート等県内すべての労働者に適用されます。

税のことなら何でも、税務相談に応じます



日時
平成12年2月2日（水）
午前10時～午後4時

場所 水俣市水光社

相談料

無料

相談員

熊本国税局税務相談室八代分室税務相談官

問い合わせ先

熊本国税局税務相談室八代分室
096-555-1171